



長野県議会議員
自由民主党県議団
相談役本郷一彦

ほんごう一彦県政報告

令和3年県政の窓を通して活力ある

松本市・東筑摩郡を実現します

1. 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症に対しては、複数のPCR検査センターを開設し検査体制の充実を図るとともに、「新しい生活様式」の定着やガイドラインの周知などにより地域の皆様と連携しながら感染拡大防止を図っており、引き続き、感染の再拡大に備え医療提供体制などの充実を進めてまいります。

一方、地域の皆様の暮らしを支え、経済の再生を図るため、消費喚起や県内観光の促進等経済活動の活性化の取組を鋭意進めてまいります。

2. 松本市の中核市への移行について

松本市では、市民の皆様のニーズに迅速かつ的確に対応し、さらに魅力あるまちづくりを進めるため、令和3年4月1日の中核市への移行に向けた準備を進めています。地域の実情に即した行政サービスの提供は大変重要であることから、円滑な移行に向けて引き続き支援してまいります。

3. 信州まつもと空港の国際化実現について

私の本会議の代表質問に対し、知事より令和4年に国際化への正式な答弁があり、実現に向けてのステージがスタートしています。国際線の受入れに必要な税関・検疫・出入国管理等、山積する課題の検討が行われ、現在、入国審査用臨時施設の整備が進められています。

また、GPSを活用した進入方式の導入や駐車場の増設など空港の機能強化も図られました。

4. 青木峠バイパスの事業促進について

松本と上田地区を結ぶ主要東西路線（国道143号）の最後の課題である青木峠バイパスは平成31年4月に国の交付金事業として採択となりました。現在、工事着手に向けた測量・調査・設計が進んでいます。

5. 幹線道路の整備促進について

中部縦貫自動車道は北陸と首都圏を結ぶ国家事業であり、松本市はその中央に位置し極めて重要な幹線道路であります。県内の全線実現に向け、積極的な活動をしてまいります。また、国道158号の奈川渡改良は工事が進められ、狸平地先のトンネルによる改良も工事着手の予定となっています。これらの事業の早期完成に向け努力いたします。

6. 松本城の世界遺産登録に向けて

世界遺産登録暫定リストへの登録をめざして、犬山市、松江市との連携を支援するなど、積極的に活動してまいります。

7. 松本市の更なる進化をめざして

各種シンクタンクの調査において、松本市は全国約1700ある市町村の中で政令市と肩を並べて上位にランクされ、県内において突出した位置づけであり、さらに中核市への移行などのチャンスを活かし、経済・教育・芸術文化・スポーツ・観光・環境等一層のグレードアップに努力してまいります。

8. 上高地・梓川の河床上昇対応について

令和2年度まで防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策事業として採択され、着実に進められてきました。引き続き、国土交通省、環境省とも連携を取りながら、更なる対応及び実施に向け取り組んでまいります。

9. スポーツ振興について

国民体育大会・全国障害者スポーツ大会は、令和10年に1年延期されることとなりましたが、開・閉会式会場となる松本市の陸上競技場は130億円かけて建替えが予定され、現在設計作業が行われています。また、サンプロアルウィンについても一層の施設の充実に努めてまいります。

10. 総括

高いポテンシャル都市松本市は東筑摩郡との広域連携を図り、共生の理念のもと県下をリードする地域に他なりません。今回の新型コロナウイルスの影響から地域の皆様の命と健康、暮らし、産業を守るため、医療体制の整備を引き続き進めるとともに、停滞している社会経済活動の活性化を積極的に行ってまいります。その為に県・松本市・東筑摩郡5村との連携を一層密接にしていく決意でありますので、皆様のご理解とご協力を心よりお願い致します。